

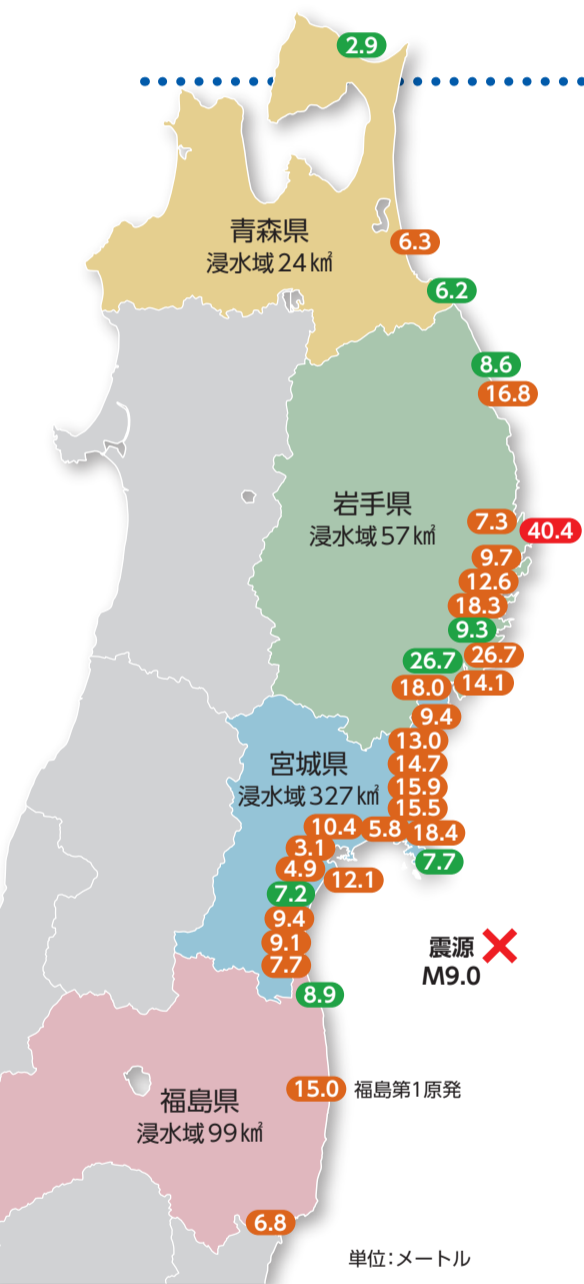


〈1年以上支援を行っている災害〉

東日本大震災

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、東北から関東にかけての東日本一帯に甚大な被害をもたらしたが、地震・津波に加えて原子力災害が重なる複合災害となった。

【東日本大震災の概要】



津波の様子
出典：いわて震災津波アーカイブ/
提供者：一般社団法人久慈市観光物産協会



JR新地駅の被災状況



漁港出初式



三陸鉄道リアス線開通

地震名：平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震
 発生日時：平成23年3月11日（金）午後2時46分
 震源地：三陸沖 約130km付近 深さ24km
 地震規模：マグニチュード9.0
 最大震度：7（宮城県栗原市）

マグニチュード9.0

東日本大震災は、2011年3月11日14時46分頃に発生。三陸沖の宮城県牡鹿半島の東南東130km付近で、深さ約24kmを震源とする地震でした。マグニチュード (M) は、1952年のカムチャッカ地震と同じ9.0。これは、日本国内観測史上最大規模、アメリカ地質調査所 (USGS) の情報によれば1900年以降、世界でも4番目の規模の地震でした。

被害概要

被害状況等については、まだ行方不明者も多く、全容は把握されていません。緊急災害対策本部資料によると、震災から3ヶ月を超えた6月20日時点で、死者約1万5千人、行方不明者約7千5百人、負傷者約5千4百人。また、12万5千人近くの方々が避難生活を送っています。

震度

本震による震度は、宮城県北部の栗原市で最大震度7が観測された他、宮城県、福島県、茨城県、栃木県などでは震度6強を観測。北海道から九州地方にかけて、震度6弱から震度1の揺れが観測されました。

その後も強い揺れを伴う余震が多数観測されています。気象庁によると、4月7日に宮城県沖を震源として発生した震度6強の余震をはじめ、5月31日までに発生した余震は、最大震度6強が2回、最大震度6弱が2回、最大震度5強が6回、最大震度5弱が23回、最大震度4が135回観測されました。

※引用：内閣府ホームページ https://www.bousai.go.jp/kohou/kouhoubousai/h23/63/special_01.html

東北各地の津波の高さ

●は気象庁発表、福島第1原発は東京電力発表、●は「東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ」がホームページで公開している数値。気象庁のデータはむつ市関根浜を除き、痕跡から推定した津波の高さ。合同調査グループのうち、●印は遡上高。

※[東方区学院大学ホームページ] から作図
https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/about/sin-sai/record/chap_7/chap07_07.html